

自衛隊記念日レセプション林禎二大使挨拶

御出席の皆様、本日皆様を大使公邸にお迎えし、自衛隊記念日レセプションを開催できることを誠に喜ばしく思っております。

自衛隊記念日レセプションは、日本と伯や諸外国間の防衛・安全保障分野の関係強化を願って行います。ここに伯海軍司令部参謀副長シルヴィオ・ルイス・ドス・サントス海軍中將を初めとする多数の方々を招待できたことを心から感謝しつつ、公邸料理人が腕を振るった本場の日本料理と最高級の日本酒で皆様を歓迎いたします。

日本とブラジルは、長い友好の伝統を持ち、そして、民主主義、人権の尊重、法の支配といった基本的価値観を共有する戦略的グローバル・パートナーです。日本は、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、国際社会の平和と安定に積極的に貢献しています。また、ブラジルも積極的にPKOに関与しており、国連を重視しております。

2020年12月には伯国防大臣と我が国防衛大臣との間で「防衛協力覚書」が署名されました。本年8月には海上自衛隊練習艦隊がブラジルを訪問し、現地海軍との交流を図っています。この覚書や軍事交流を基礎として、両国の協力関係がさらに進むと期待しております。

本年5月のG7広島サミットに出席するためルーラ大統領が訪日され、1時間にわたり岸田総理と会談いたしました。同会談では様々な分野の意見交換をいたしましたが、安全保障の分野では、両国が共に国連安保理非常任理事国を務める本年、連携して安保理改革を主導するとともに、自由、民主主義といった基本的価値の重要性を再確認しつつ、法の支配に基づく国際秩序の維持・強化に向け協力していくことで一致しました。

こうした安保・防衛分野での関係強化に当たっての、関係者の方々の温かいご支援、ご協力に、改めて感謝申し上げます。本レセプションが日本とブラジルの絆を深めることを祈念して、私の挨拶とさせていただきます。